

ハイデ日高(7611)



— 13年連続の最高益更新と11年連続の増配に向け順調な折り返し —

ハイデ日高が9月28日に発表した上期(2-8月期)決算は売上高が前年同期比7%の増収、営業利益が同11%の増益となりました。新規出店は計画を下回ったものの、既存店売上高が2.4%増と順調に推移し、売上高、営業利益とも計画を上回って着地しました。通期予想は営業利益で前期比6%増という従来予想を据え置きました。やや保守的にもみえますが、13期連続の最高益更新に向けて順調な折り返しになったといえます。

ハイデ日高は東京、千葉、埼玉、神奈川といった1都3県を中心に8月末で360店舗余りを展開するラーメンチェーンで、他のラーメンチェーンと異なって駅前などの繁華街一等立地で店舗を展開するのが特徴です。繁華街の好立地に出店することで競合が少なく価格競争などに巻き込まれないといったメリットがあり、こうした店舗で低価格の主力メニューに加え、季節に応じた期間限定のメニューを投入することや、チョイ飲み需要をうまく取り込むことで成長を続けています。

年間30店舗の出店目標という出店投資を踏まえて配当性向は25%以上を目処としていますが、継続的な利益成長を受けて11年連続で配当も増え続けています。今期の年間の配当予想は1株当たり36円と前期から横ばいですが、1.2株の株式分割を考慮すると実質的には増配となります。9月も既存店売上高は前年同月比0.7%増と前年を上回っています。11年連続に向けて順調なスタートを切ったといえます。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、[「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」](#)をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会